

令和4年5月11日(水)

## モラルサイエンス研究会発表要旨

企画:モラルサイエンス研究推進プロジェクト

【テーマ】

「多様化するジェンダー・セクシュアリティ・家族」

【要旨】

道徳科学研究所モラルサイエンス研究推進プロジェクト主催の公開研究会「多様化するジェンダー・セクシュアリティ・家族」を、5月11日に開催した。

価値観の多様化に伴い、家族の形態も多様化している。これからの家族像をいかに描き出していけば良いのか。ジェンダーやセクシュアリティ、LGBTをめぐる最新の動向や論点にも触れながら議論した。

スピーカーとしてお招きした松浦大悟氏(元参議院議員)には「LGBTの中の多様性:保守はのLGBTはどう考えているか」と題して、また高橋史朗氏(道徳科学研究所教授)からは「家族・性・ジェンダーの多様性をいかに捉え、教えるべきか」と題して、それぞれ報告を頂いた。

コーディネーターは緒賀正浩氏(武蔵野大学非常勤講師)が務めた。

(文責:モラルサイエンス研究推進プロジェクトリーダー 川久保 剛)